

地域ささえあい助成 団体交流会を開催しました

～東京会場・大阪会場にて、のべ95人が参加～

共催：日本生活協同組合連合会

コープ共済連（日本コープ共済生活協同組合連合会 代表理事理事長・佐藤利昭（さとう としあき））は、このたび「地域ささえあい助成 団体交流会」を開催し、のべ95人（コープ共済連・日本生協連の事務局、報道関係者除く）が参加しました。

地域ささえあい助成とは、コープ共済連が2012年度から実施している社会貢献活動の一環で、

- ① 活動内容が、対象となる活動テーマに該当すること
- ② 生活協同組合とNPO・ボランティア団体等が協同した取り組みであること

上記両方の条件を満たす取り組みに対し、最大100万円を助成するものです。

2017年度は、42団体に 総額2,492万9,950円を助成しました。

団体交流会は、助成団体の皆様がさらに発展した取り組みができるよう、活動の事例報告や意見交換を行う場としてご活用いただくことを目的として、年に1回開催しています。



東京会場の様子



大阪会場の様子

【開催概要】

【東京会場】12月7日（木）開催 （22団体・34人）

1. 講演

「地域ささえあい助成のめざすもの」

日本生活協同組合連合会 組織推進本部 二村 睦子 本部長

2. 助成団体による活動報告

- ・「福島からの発信！『砂の遊びとアート』活動による子どもの健康と未来づくり」
NPO 法人福島 SAND-STORY（福島県）
- ・「いじめ・不登校・ひきこもり問題を地域・社会へ発信し、つなげる」
コープみらい地域クラブひだまり（千葉県）
- ・「みんなで作ろう！！きらくクラブ」
きらくクラブ（神奈川県）

3. 団体交流

ファシリテーター：日本NPOセンター 吉田 建治 事務局長

※各団体の活動紹介・意見交換など

【大阪会場】12月15日（金）開催 （27団体・61人）

1. 講演

「たすけ上手・たすけられ上手」の地域づくり ～推進団体の役割と課題～

同志社大学大学院 社会学研究科 上野谷 加代子 教授

2. 助成団体による活動報告

- ・「子どもの貧困『ポトスの部屋の実践』」

特定非営利活動法人ポトスの部屋（愛知県）

- ・「京都 上京区『今日も行ってみよう会』の取り組み報告」

京都生活協同組合（京都府）

- ・「鹿児島県における『生活支援』の実践交流の場と情報ネットワークづくり」

鹿児島県生活協同組合連合会（鹿児島県）

3. 団体交流

ファシリテーター：日本NPOセンター 吉田 建治 事務局長

※各団体の活動紹介・意見交換など

（関連情報）

☆2018年度 地域ささえあい助成 募集のお知らせはこちら（コープ共済連 Web サイト）

<http://coopkyosai.coop/about/csr/socialwelfare/2018.html>

お問い合わせ先

日本コープ共済生活協同組合連合会

渉外・広報部（担当 南波・滝山）

TEL：03-6836-1320／FAX：03-6836-1321（平日10時～17時 土日除く）

e-mail：kyosaiinfo@coopkyosai.coop